



2023年3月29日

各位

会社名 株式会社ライトアップ  
代表者名 代表取締役社長 白石 崇  
(コード：6580 東証グロース)  
問合せ先 取締役 最高財務責任者 村越 亨  
(TEL. 03-5784-0700)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年11月14日に公表いたしました通期業績予想を下記の通り修正することにしたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

##### (1) 2023年3月期通期個別業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,700 ～2,800	百万円 550 ～700	百万円 548 ～698	百万円 380 ～484	円 銭 72.05 ～91.77
今回修正予想 (B)	2,240	170	168	116	22.39
増減額 (B-A)	△460 ～△560	△380 ～△530	△380 ～△530	△264 ～△368	—
増減率 (%)	△17.0 ～△20.0	△69.1 ～△75.7	△69.3 ～△75.9	△69.5 ～△76.0	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	2,777	840	841	606	115.19

##### (2) 修正の理由

当事業年度の売上高は、DXソリューション事業において、地方経済低迷の影響からJDネットおよびJシステムの販売が低調に推移しております。また、Jコンサルティングサービス内容の大幅変更に伴い受注から売上計上までの期間が長期化（当初約8か月を想定していたところ、14か月に長期化する見通し）いたしました。また主要補助金の採択発表が4月以降にずれなかったことも、売上計上長期化のさらなる要因となりました。

一方で、Jコンサルティングの受注は月次ベースで過去最高レベルを維持しており、堅調に推移しています。現在までの受注済み未計上残の案件が4月以降順次計上される見通しです。

Jプラットフォーム、EC内製化パック、JSaaSストアなど、今期投資を続けてきた新規サービスを第4四半期以降続々とリリースさせることができました。これらはある程度業績に貢献しましたが、本格的な計上は来期以降となるため、減収分を十分に補うまでにはいたりませんでした。この結果、DXソリューション事業の売上高は前回予想を4億3千万円から5億3千万円下回る見通しとなりました(前回予想比18.7%減から22.1%減)。なお、コンテンツ事業は提案から受注までのリードタイムが長くなる傾向があり、受注が計画に対して未達となる見通しです。そのことから前回予想を3千万円ほど下回る見通しです(前回予想比7.5%減)。

以上のことから当社の売上高は、2022年11月に公表した売上高を4億6千万円から5億6千万円ほど下回る見通しとなりました。

費用面では、当事業年度におけるDXソリューション事業での経費削減努力の結果、前回予想比では0.2%減から10.5%減となる見通しです。

上記の通り主として売上の未達の影響により、当期末までに業績が前回予想値に達しない見通しとなりましたため、通期業績予想を修正いたします。

※ 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき算定したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

以上